

「市来小学校の祇園祭伝承活動の取組」

1. 学校名	いちき串木野市立市来小学校
2. 学年・人数	5年生 39人
3. 日時・場所	日時・場所 令和7年10月21日 市来小学校5年1組教室
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 いちき串木野市指定無形民俗文化財 祇園祭（ぎおんまつり）</p> <p>(2) 由来 1812年湊町の商業が栄えることを祈り、京都の八坂神を勧請するために八坂神社が建てられ、京都の祇園祭を習って山車を作り、町の人々が祭りを始めたと言われているものである。</p> <p>(3) 構成等 山車は、釘を一切使わず、木製車輪の2階建てが特徴で、全国的にも珍しいとされている。山車は、「男山」と「女山」に分かれ、各集落で作られる。威勢の良い太鼓の「男山」と、三味線を奏でる「女山」が八坂神社を中心に巡行し、各所で踊りなどが披露される。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>令和7年度から5年生の総合的な学習の時間に「市来に受け継がれるもの」という単元を設定し、祇園祭・大里の虫追い踊り・市来の七夕踊の歴史や内容を調べてまとめる学習に取り組んでいる。調べる活動の中で、それぞれの伝統芸能の歴史や由来、これまでの活動状況、今後の展望や願いについて話を聞く活動を設定した。伝統芸能を継承する思いやこれからの願いについて話をさせていただくことで、地域の文化を受け継いでいくことへの大切さに気付かせた。調べたことを、地域や世間に広く知らせることを目的として、リーフレットやスライドにまとめ、広報活動に役立てる予定。</p>
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="411 1357 863 1693" style="text-align: center;">  <p>講話</p> </div> <div data-bbox="871 1402 1442 1648" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">祇園祭</p> <p style="text-align: center;">参加者の感想</p> <p>祇園祭は役に見られることが多く、暗い照明が光っていて、とても綺麗です。</p> <p>かね、小太鼓、おげ、大太鼓、三味線の音が一斉に響き、「祇園山」「観音山」「天神山」「伽羅山」の順番が始まりました。</p> <p>皆さんが「来てよかったな」「また聞きたいな」と見えるように精一杯練習をしますのでぜひ足を運んでください。</p> <p style="text-align: right;">祇園祭りの歴史</p> <p>祇園祭りはもともと京都の祭りでした京都の人に鹿児島県の人々が教わった祭りです今から200年前に祇園祭りは始まりました祇園祭の代表の山にはこれまでに活躍した偉い人が飾られていますそして山には秘密があります1つ目はステージが作れますそこで踊りや合奏をします2つ目は山は200年前からおなじ道を進んでいきます</p> <p style="text-align: right;">お祭りのやりかた</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">作成したリーフレットの一部</p>
7. 感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祇園祭りに2年続けて参加していたが、自分たちで調べたり、西村さんから話を聞いたりして、初めて知ることも多かった。また来年も参加したいと思う。 ・ 200年以上の歴史があり、衣装も京都から取り寄せた物があることも知り驚いた。自分たちの町に、こんなにも続く行事があることがすごいと思った。自分たちもこの行事をつなげていきたいと思う。